

私立 大阪体育大学

教職を志す体育・健康福祉学部学生への総合的就職支援体制の確立

取組期間	2009(平成21)年度～2011(平成23)年度
区分	学生支援推進プログラム
所在地	〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1
設置者	学校法人 浪商学園

取組内容とその成果

プログラムの目的及び内容

本プログラムでは、学生の社会人基礎力の向上を図り、希望進路の実現を支援することを目的とし、4年間を通じたキャリア形成支援・就職支援プログラム「教職を志す体育・健康福祉学部学生への総合的就職支援体制の確立」の活動に取り組む。本取組では、本学の教育の大きな柱であり、学生の就職希望が多い、教員への進路を実現するための支援を重点的に行う。具体的には、キャリアウィークの新設、キャリアセミナーや自主学習支援講座の拡充、キャリアカウンセラーの配置、キャリア計画ノートの作成やeポートフォリオの活用などによる、総合的な就職支援を行う。体育大学という特性上、多くの学生が運動部で熱心に活動を行っている実情に合わせた、独自の支援システムを構築する。また本学既卒の教職希望者への支援も視野に、キャリア支援センターを諸作業の軸とし、本学の教育力を総合的に機能させ学生の希望進路の実現を図る。

到達目標

- ①全学的に「キャリアウィーク」(短期集中講座)を実施することにより、進路に対する意識付け、基礎学力の向上、社会人としての「基礎力」を向上させる。
- ②自由科目「キャリアセミナー」の授業の開設により、より多くの学生に明確な進路選択の意識付けをさせる。
- ③「キャリア計画ノート」を作成することにより、早い段階から学生のキャリア意識や「社会人」としての学力の形成を向上させる。
- ④自主学習支援講座を担う非常勤講師を増員することにより、教員志望の学生が受講できる機会が増え、より多くの学生が支援を受けることができ、一層の学力向上に繋がる。

⑤キャリアカウンセラーとキャリア支援センター教職担当事務員を新規に配置することにより、より細かな進路相談をすることができ、多くの学生の進路選択を充実させる。

⑥最終年度には本学生推進事業報告書を作成し、社会への公表・普及に繋げる。

プログラムの実施内容

①1～3年次生の全学生を対象に、後期の通常授業期間終了後(2月中旬)「キャリアウィーク」を午前2コマ、5日間実施した。(表1)

②2・3年生を対象に「キャリアセミナー」の授業を、自由科目として通常の授業時間内に開講した。

③1年次より「キャリア計画ノート」を作成させ、特に教員免許取得希望の学生には「毎時間の学習記録」と学期ごとの学びを省察する「学習点検シート」を作成させ、年度末に提出させた。

④「自主学習支援講座」は、非常勤講師を増員することにより週10コマ開講し、学生の自主学習の機会を提供した。またキャリア支援部の総括アドバイザーを中心に、キャリア支援部で集団面接、個人面接、模擬授業に重点をおいた教員採用試験対策を実施した。

⑤2009(平成21)年9月から、キャリア支援部にキャリアカウンセラーとキャリア支援センター教職担当事務員を新規に配置し、キャリアアップを図る学生のサポート体制を整えた。

⑥最終年度には本学生推進事業報告書を作成し、社会への公表・普及に繋げた。

プログラムの成果

1. 当該プログラムの周知方法等

キャリア支援センターを中心にキャリア支援委員会、キャリア支援部の3者が連携を図りながら本

ロケラムを推し進めた。主に本事業の日常的な活動はキャリア支援部が推進し、学生・教職員に対しては新年度のガイダンス、各種就職ガイダンスまたホームページや学内掲示を通じて周知徹底を図った。

特に本事業の特徴である「キャリアウィーク」の実施にあたっては、副学長を責任者にして実行委員会を設置して、プログラムの実施計画の周知を図った。また、ホームページに本学生支援推進事業に関するコーナーを設置して社会に公表した。

2. 当該プログラムの成果

(1) 自己評価は、どのような観点で行ったか。

①「キャリアウィーク」の評価は、まず、教務補佐の協力を得て、全講座で出席管理を行い、学生に「キャリアウィーク」の参加を義務付けた。また、講座最終日に「キャリアウィーク」に対するアンケート調査を実施し、学生の満足度やニーズを分析して、講座内容の改善や就職支援の施策立案に活用した。

②「キャリアセミナー」については、通常授業最終日に学生の授業評価を実施し、授業の成果や改善点を見つけ出した。

③教員免許取得希望者の「毎時間の学習記録」と「学習点検シート」は、年度末に提出させ、教職科目を担当している専任教員が学生の自己評価の記述内容や成績評価を点検・評価し、平成23年度からは本学ホームページ上のeポートフォリオを活用して学生にフィードバックした。

④「教員採用試験対策のための自主学習支援」については、各学期の初めと終わりに教職課程委員会委員長が自主学習講座に参加している学生を集めてガイダンスを行った。特に小学校教員免許を通信教育で受講している学生には、履修状況や受講上の問題点などを話し合い、改善に努めた。

⑤本学生推進事業の成果を検証する作業として、2009(平成21)年度～2011(平成23)年度の就職状況(特に教員採用試験)の結果をまとめて、学内誌(OUHSジャーナル)やホームページ上に就職情報のコーナーを設置して社会に公表した。

⑥その他の事業については、主にキャリア支援部の日常業務の中で、毎週金曜日に事務連絡会で事業の進捗状況や問題点について話し合い、改善に努めた。

(2) 到達目標に達したか。具体的な成果は何か。

①本事業の特徴である「キャリアウィーク」は、1～3年生を対象に、全員に出席を義務づけて実施

し、単位化していないにも関わらず、3年間の出席率は全体平均で2009(平成21)年度81.6%、2010(平成22)年度77.4%、2011(平成23)年度74.5%と高い値を得ることができた。特に3年生の教職を志す教員希望クラスの出席率は2009(平成21)年度81.9%、2010(平成22)年度84.4%、2011(平成23)年度75.8%と大変高い出席率を得ることができ、ほぼ目標値を達成することができた。(表2・3)

次に「キャリアウィーク」の最終日に実施した学生によるアンケート調査の中の「講座内容の満足度」や「進路に向かって力になったか」の点検・評価(表4・5)では、2009(平成21)・2010(平成22)年度の3年生の評価はほぼ満足のいく評価であったが、1年生の評価は厳しい内容であった。しかし、2011(平成23)年度は実施内容を大幅に見直した結果、各学年とも3年間で最も高い評価を得ることができた。特に今まで評価が低かった1年生の評価に大変高い値を得ることができ、今後の実施内容の方向性を見つけていくことができた。(図1・2・3)また学生の進路選択に対する意識付けや、社会人基礎力の育成を図ることができた。

②「キャリアセミナー」については、2010(平成22)年度から2・3年生全員を対象を広げて、自由科目として通常の授業時間内に開講した結果、履修者、出席率とも増加してきている。また講義に対する総合評価も2010(平成22)年度は8割近く、2011(平成23)年度は7割以上の学生が満足しており、学生に明確な進路選択の意識付けを図ることができた。(図4・5・6・7)

③1年次より「キャリア計画ノート」を作成することにより、学生のキャリア意識や社会人としての学力形成の向上に繋がった。特に教員免許取得希望者には「毎時間の学習記録」と「学習点検シート」を作成させることにより、学習の振り返りを行う機会になった。

また、教職科目を担当している専任教員が「学習点検シート」に記載されている学生の自己評価の内容や成績評価を点検・評価し、本学ホームページ上のeポートフォリオを活用して学生にフィードバックしたことで、教職への意欲の喚起と学習の定着に役立つことができた。なお、2011(平成23)年度には授業の出席管理、eポートフォリオを含めたデータベースを構築することができた。

④「教員採用試験対策のための自主学習支援」については、非常勤講師を増員することにより自主学

習講座を週10コマ開講することができ、教員志望の学生が教員採用試験対策のための講座を受講する機会が増え、これらの学習支援により一層の学力向上に繋がり、運動部活動と教職に関する学習を両立させることができるようになった。また、キャリア支援部の総括アドバイザーを中心に、キャリア支援部で集団面接、個人面接、模擬授業に重点を置いて学生指導にあたり、学生の意識の向上と意欲の向上に繋がった。また、教員採用対策のための学内セミナーを開催し、教員志望の学生への採用実現に向けてサポートすることができた。

⑤「キャリアカウンセラー」を2009(平成21)年9月からキャリア支援部に配置し、初年度は延べ70回、2年目は延べ450回、3年目も延べ400回を超える進路相談や面接練習を実施し、今日の社会構造の変化、不安定な経済情勢に対する学生の自己実現や就職についての不安の縮小を図ることができた。また、本学キャリア支援部専任職員との連携により、従来以上にきめ細かな進路相談の実施によって、多くの学生の進路選択を充実させることができた。

キャリア支援センター教職担当の事務員を配置したことにより、キャリアウィークの準備及びキャリア計画ノートの作成補助等の実施が円滑に行え、またキャリア支援センターの一層の機能充実を図ることができた。

⑥2012(平成24)年3月末日に本推進事業報告書を発刊し、社会に公表・普及に繋げることができた。

最後に、本学生支援推進事業に取り組んだ2009(平成21)年度から2011(平成23)年度までの就職状況、特に本事業の目的である教職を志す学生の進路状況(教員採用試験の結果等)をまとめて報告する。

★就職状況について(特に教員採用について)

①2009(平成21)年度の就職状況

2009(平成21)年度の就職率は体育学部95.4%、健康福祉学部97.6%の高い数値を示し、大学全体では95.9%の高い水準を得ることができた。この数字は2009(平成21)年度卒業生を対象とした文部科学省と厚生労働省が発表している「就職状況統計調査」91.8%と「体育大学協議会加盟大学就職状況等」91.7%と比較してみても大きく上回る結果であった。

その中でも教員採用状況では、現役学生の教員採用試験延べ合格者が前年度の2.3倍の23人、既卒者の合格者89人で、昨年度実績の77人(現役合格者10人、既卒合格者67人)と比較すると、35人増加

したことは特筆すべきことである。また、教員を除く公務員合格者数は、前年度の1.5倍の62人(前年度41人)と大幅に増加した。これらの要因としては、従来から取り組んでいるキャリア支援部の活動が学生に浸透し、また活動内容では教員採用試験対策における個別指導が実を結んできた結果ではないかと考えている。

表6 2009(平成21)年度 卒業生進路状況

表7 2010(平成22)年度 教員採用試験合格者

②2010(平成22)年度の就職状況

2010(平成22)年度の就職率は体育学部97.6%、健康福祉学部も97.6%の高い数値を示し、大学全体では97.6%と前年度(95.9%)を上回る高い水準を得ることができた。その中で教員採用状況では、現役学生の教員採用試験延べ合格者が9人で、昨年度の延べ23人と比較すると延べ14人の減少となった。しかしながら、既卒者の合格者は121人と昨年度より32人増加した。特に大阪府40人、大阪市16人、堺市9人、兵庫県15人となり、合計80人の合格者を輩出している。これら自治体の保健体育科の合格者数の総計が258人であり、本学の卒業生が31.0%を占める好成績であった。

表8 2010(平成22)年度 卒業生進路状況

表9 2011(平成23)年度 教員採用試験合格者

③2011(平成23)年度の就職状況

今年度の教員採用状況は、現役学生の教員採用試験延べ合格者が20人で、昨年度の延べ9人と比較すると延べ11人の増加となった。また、既卒者の合格者数77人(2012(平成24)年3月7日現在)であるが、まだ合格したことをキャリア支援部に報告していない既卒者がいると思われる。次に公務員合格者数も49名と、昨年より15名上回る好結果であった。

これらのことは、3年間にわたる本学生支援推進事業の取組が着実に実を結んできていることを裏づける結果であると考えている。なお、大学全体の就職状況は現在集計中であり、毎年5月1日を集計のリミットとしている。今年度も昨年度同様、就職率95%以上を見越している。

表10 2012(平成24)年度 教員採用試験合格者

今後の計画

1. 当該プログラムの成果をどのように活用しているか。

①本学の特徴である「キャリアウィーク」を3年

間実施したことで、学生・教職員に活動内容や成果について理解が深まり、全学あげての重要な取組として定着しているため、今後も実施内容をさらに精選し継続する予定である。

②「キャリアセミナー」については今後も2・3年生を対象にして、自由科目として通常の授業時間内に開講し、学生に明確な進路選択の意識付けを図りたい。

③「教員採用試験対策のための自主学習支援」については、自主学習講座を継続して週10コマ開講し、教員志望の学生のより一層の学力向上に繋げていきたい。次に、キャリア支援部の面接指導や模擬授業の個別指導を重点的に行い、現役学生の合格者の増加に努めていきたい。

また学内セミナーについても積極的に推し進めて行く。

④キャリアカウンセラーについては、今後もキャリア支援部に配置して本学キャリア支援部専任職員との連携により、従来以上にきめ細かな進路相談を行い、多くの学生の進路選択を充実させていきたい。

2. 今後の計画

上記の諸事業の3年間に亘る取り組みにより、「教職を志す体育・健康福祉学部学生への総合的就職支援体制の確立」が全学的にでき上がりつつあると考えている。今後はこれまでの3年間の成果を踏まえて、さらに大きく就職支援活動を前進させるためにも、本学の特徴である「キャリアウィーク」の実施については、補助金対象期間が終了しても「キャリアフェスタ」と銘打って内容を精選し、継続する予定である。

また、「本学の中期の目標と計画（2011(平成23)年度～2014(平成26)年度)」の取組の中に、「就職力」を高めることが重点目標として策定されている。特に教職を志す学生のサポート体制を強化することが重要項目になっている。具体的な取組としては、教職課程センター（仮称）を開設し、教職志望の学生をサポートする取組や、過年度卒業生への教員採用試験対策の支援、学習支援室による小学校教員免許取得希望者のサポート活動を支援する取組、学校インターンシップ活動の早期化などである。また小学校教員養成課程の開設についても、早期に決論を出すことが求められている。

このように3年間で確立された「教職を志す学生への総合的就職支援体制」の上に、これらの新しい

取組を積極的に取り入れ、教職を志す学生の夢の実現のために、今後もキャリア支援センター、キャリア支援委員会、キャリア支援部の3者が連携を図りながら、総合的就職支援体制をさらに強化していきたい。

就職未内定者への支援策

1. 内定（内々定）のピークを過ぎても内定（内々定）を得られない者への支援策

- ・キャリア支援部から内定未定者全員に連絡をとり、個別指導（個別支援）を徹底した。
- ・キャリア支援部内に4年生求人コーナーを設け、支援活動を行った。
- ・採用担当者を学内に招き、内定未定者に説明会を実施した。
- ・キャリアカウンセラーへの相談を、電話、メールでも可能にした。

2. 未内定のまま卒業した者への支援策

- ・卒業生全員に進路事前調査を行い、希望進路先の求人情報を卒業後もメールにて提供している。
- ・卒業後もキャリア支援部にて随時個別相談を受け付けている。
- ・既卒者に対して、ホームページを利用し教員採用試験2次対策講座の案内を行い支援している。
- ・各都道府県の学生支援先（JOBカフェ・学生支援センター）の説明を実施している。

資 料

表-1 平成23年度 キャリアウイーク 実施計画表

実施本部(キャリア支援部内)・柏森・福田・和田・岡崎・宮崎・岩本																						
1年次生				2年次生				3年次生														
一般教養講座				進路希望別特別講座				進路希望別特別講座														
クラス		スポ教A	スポ教B	健スポ	健康福祉		教員(中学)		教員(高校)		公務員		企業									
教室		A・B・C・F	D・E・G	I・J・K・L・M	D203		P301	N201	P401	P501	C302	C305	C304	C301								
2月13日	9:30	集 合				集 合				集 合												
	9:30 ~ 11:00	1年次の学習の振り返りと今後の取り組み クラス担任指導(演習室・小教室・研究室)				テキスト配布・講師紹介など				テキスト配布・講師紹介など												
2月14日	9:30 ~ 11:00	社会人基礎力・マナーテスト 体育A~K, D201		素敵な社会人になるために ~社会人基礎力とマナー~ 体育L, M, 健福, C401		教員採用ガイダンス		教員採用ガイダンス		公務員 ガイダンス		企業職種ガイダンス		企業研究・採用状況								
	11:20 ~ 12:50	素敵な社会人になるために ~社会人基礎力とマナー~ 体育A~K, D201		社会人基礎力・マナーテスト 体育L, M, 健福, C401		教育心理		教育法規		数的推理		言語分野		専門保体	教育原理	数的推理	自己分析・自己PR					
2月15日	9:30 ~ 11:00	教員採用ガイダンス		教員採用ガイダンス		企業職種ガイダンス		福祉職種ガイダンス		教育法規		一般教養(国語)		判断推理		言語分野		教育原理	専門保体	判断推理	面接対策について	
	11:20 ~ 12:50	教員採用 模試・解説		教員採用 模試・解説		SPI模試・解説		企業職種ガイダンス		教育法規		一般教養(英語)		判断推理		言語分野		教育法規	専門保体	判断推理	模擬面接	
2月16日	9:30 ~ 11:00	公務員職種 ガイダンス		企業職種ガイダンス		教員採用ガイダンス		公務員職種 ガイダンス		一般教養(国語)		教育法規		政治・経済		非言語分野		面接・模擬授業対について	専門保体	面接対策について	グループ討議対策	
	11:20 ~ 12:50	公務員模試・解説		SPI模試・解説		教員採用 模試・解説		公務員模試・解説		一般教養(英語)		教育心理		政治・経済		非言語分野		模擬面接【集団】	専門保体	模擬面接	模擬グループ討議	
2月17日	9:30 ~ 11:00	企業職種ガイダンス		公務員職種 ガイダンス		公務員職種 ガイダンス		教員採用ガイダンス		一般教養(数学)		一般教養(数学)		数的推理		非言語分野		A専門保体	B特別支援	面接・模擬 授業対策について	政治・経済・社会	面接 (集団)
	11:10 ~ 12:40	SPI模試・解説		公務員模試・解説		公務員模試・解説		教員採用 模試・解説		教員採用 模試・解説		教員採用 模試・解説		公務員模試・解説		SPI模試・ 解説		A専門保体	B特別支援	模試面接	政治・経済・社会	グループ討議
	12:40 ~ 13:00	アンケート実施・キャリア支援部活動計画説明				アンケート実施・キャリア支援部活動計画説明				アンケート実施・キャリア支援部活動計画説明												

*2/13 1限目 クラス担任との面談場所(別紙参照)

*2/13 2限目 ゼミ担任との面談場所(別紙参照)

表-2 キャリアウイーク出席状況

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
3年生全クラス	77.5%	→ 75.0%	→ 67.5%
2年生全クラス	82.0%	→ 74.0%	→ 74.5%
1年生全クラス	85.4%	→ 83.1%	→ 81.6%

*1年生と2年生平成21年度は教員希望クラスを設定していない。

表-3 キャリアウイーク出席状況

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
3年生教員希望クラス	81.6%	→ 84.4%	→ 75.8%
2年生教員希望クラス	—	→ 78.4%	→ 63.3%

表-4 「講座内容の満足度」について(好意的な回答)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
3年生	62.4%	→ 56.3%	→ 62.8%
2年生	53.9%	→ 40.9%	→ 55.4%
1年生	32.9%	→ 40.7%	→ 63.3%

表-5 「進路に向かって力になったか」について(好意的な回答)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
3年生	61.3%	→ 63.5%	→ 82.0%
2年生	58.1%	→ 49.6%	→ 68.4%
1年生	30.3%	→ 36.5%	→ 73.0%

表-6 平成21年度 卒業進路状況

平成22年5月1日現在 (人)

学 部	区 分	体育学部						健康福祉学部				高学部	
		スポーツ教育学科		健康・スポーツ マネジメント学科		計		健康福祉学部		小計(%)			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		合計(%)
学校関係	小学校	3	3	0	4	3	7	10	0	1	1	11	74
	中学校	32	18	13	6	45	24	69	2	3	5	17	51
	高校	18	12	10	6	28	18	46	5	0	5	17	188
	中高	4	4	1	1	5	5	10	1	0	1	12	11
	支援	9	6	8	2	17	8	25	3	2	5	30	31
	学校職員 専門学校卒	3	3	2	3	5	6	11	0	0	0	0	11
就職希望	警察官	13	1	4	2	17	3	20	7	0	7	27	27
	消防官	7	0	5	2	12	2	14	9	1	10	24	62
	刑務官	2	0	0	1	2	1	3	0	0	0	19	13
	その他	1	0	2	3	3	3	6	2	0	2	8	3
	一般企業	35	13	29	20	64	33	97	23	9	32	227	129
未定	生涯スポーツ関係	10	11	9	11	19	22	41	5	2	7	50	46
	医療・福祉	1	6	2	4	3	10	19	26	18	44	212	57
	プロスポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自営業・個人事業	4	1	0	2	4	3	7	2	0	2	14	9
	講師待ち	1	1	1	0	2	1	3	0	0	0	3	3
	活動中	8	1	5	1	13	2	15	3	0	3	21	18
就職しない	進学・留学	17	8	12	5	29	13	42	12	0	12	85	54
	ボランティア(JICA等)	1	1	0	0	1	1	2	1	0	1	0	3
	その他	6	7	3	1	9	8	17	3	1	4	28	21
計	175	96	106	74	281	170	451	104	37	141	100	592	

(人)

項目	体育学部						健康福祉学部				高学部
	スポーツ教育学科 (旧体育学科含む)		健康・スポーツ マネジメント学科		計		健康福祉学部		小計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
卒業者数	175	96	106	74	281	170	451	104	37	141	592
就職希望者数	151	80	91	68	242	148	390	88	36	124	514
内定数(人)	142	78	85	67	227	145	372	85	36	121	493
内定数÷卒業者数	81.1%	81.3%	80.2%	90.5%	80.8%	85.3%	82.5%	81.7%	97.3%	85.8%	83.3%
就職率(内定数÷就職希望者数)	94.0%	97.5%	93.4%	98.5%	93.8%	98.0%	95.4%	96.6%	100.0%	97.6%	95.9%

事例 13 大阪体育大学

表-7 平成 22 年度 教員採用試験合格者

区分	校種	現役					小計	既卒					小計	計	
		小学校	中学校	高校	中高共通	支援学校		小学校	中学校	高校	中高共通	支援学校			
都道府県市															
大阪市						0	4	3			9	16	16		
大阪府			3	2		5	5	13	13			31	36		
堺市	1					1	1	3				4	5		
兵庫県		1				1		4	3	1		8	9		
神戸市						0		4		1		5	5		
京都府			2			2		1				1	3		
滋賀県						0			1	1		2	2		
和歌山県						0	1	2	1			4	4		
三重県			1			1						0	1		
愛知県	2					2	1	1	1			3	5		
岐阜県						0		1			2	3	3		
静岡県		1				1						0	1		
東京都						0			2			2	2		
神奈川県	2	3				5						0	5		
千葉県				1		1						0	1		
さいたま市	1	1				2						0	2		
群馬県						0		1				1	1		
福島県			1			1						0	1		
秋田県						0		1				1	1		
岡山県						0		1				1	1		
広島県						0		3				3	3		
山口県						0		1				1	1		
香川県						0		1				1	1		
愛媛県	1					1						0	1		
北九州市						0		1				1	1		
大分県						0				1		1	1		
計		7	11	4	1	0	23	12	40	20	3	14	89	112	

表-8 平成 22 年度 卒業生進路状況

平成23年5月1日現在 (人)

区分	学 部	体育学部								健康福祉学部				両学部	
		S&S教育学科		健康・スポーツマネジメント学科		計		健康福祉学部		小計		合計			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
学校関係	小学校	0	3	4	1	4	4	8	0	0	0	0	8		
	中学校	29	13	19	13	48	26	74	6	4	10		84		
	高校	25	19	12	6	37	25	62	2	2	4	18	66	207	
	中 高	3	4	1	3	4	7	11	0	1	1	17.0%	12	25.0%	
	支 援	11	5	2	3	13	8	21	1	2	3		24		
	学校附属 専門学校等	2	3	4	4	6	7	13	0	0	0		13		
	公務員 (教員を除く)	9	3	3	0	12	3	15	2	0	2		17		
	消防官	1	0	5	1	6	1	7	3	0	3	6	10	34	
	刑務官	2	0	1	0	3	0	3	0	1	1	5.0%	4	5.0%	
	その他	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0		3		
	一般企業	55	24	31	11	86	35	121	16	3	19	18.4%	140	24.1%	
	生涯スポーツ関係	9	13	9	13	18	26	44	6	3	9	9.7%	53	9.1%	
	医療+福祉	1	6	2	2	3	8	11	12	16	28	27.2%	39	6.7%	
	プロスポーツ	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0.0%	4	0.7%	
	自営業+個人事業	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0.0%	3	0.5%	
	未 定	講師待ち	4	0	2	0	6	0	6	1	0	1	2	7	12
	活動中	2	0	1	1	3	1	4	1	0	1	1.2%	5	2.1%	
就職しない	進学・留学	18	5	14	5	32	10	42	4	6	10	9.7%	52	9.0%	
	ボランティア(JICA 等)	2	0	0	1	2	1	3	0	0	0	0.0%	3	0.5%	
	その他	10	5	4	4	14	9	23	8	3	11	10.7%	34	5.8%	
計		193	103	114	68	307	171	478	62	41	103	100%	581	100%	

(人)

項目	体育学部								健康福祉学部				両学部	
	S&S教育学科 (旧体育学科を除く)		健康・スポーツ マネジメント学科		計		健康福祉学部		小計		合計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
卒業者数	193	103	114	68	307	171	478	62	41	103	581			
就職希望者数	163	93	96	58	259	151	410	50	32	82	492			
内定数(人)	157	93	93	57	250	150	400	48	32	80	480			
内定数÷卒業者数	81.3%	90.3%	81.6%	83.8%	81.4%	87.7%	83.7%	77.4%	78.0%	77.7%	82.6%			
就職率(内定数÷就職希望者数)	96.3%	100.0%	96.9%	98.3%	96.5%	99.3%	97.6%	96.0%	100.0%	97.6%	97.6%			

表-9 平成 23 年度 教員採用試験合格者

区分	校種	現役					小計	既卒					小計	計	
		小学校	中学校	高校	中高共通	支援学校		小学校	中学校	高校	中高共通	支援学校			不明
都道府県市															
大阪市						0	2	2	1			11		16	16
大阪府		4	3			7	5	15	20					40	47
堺市	1					1		9						9	10
兵庫県						0	1	2	5		1	6	15	15	
神戸市						0		2		1		1	4	4	
京都府						0		2	1	1			4	4	
京都市						0		3					3	3	
和歌山県						0			2		3		5	5	
奈良県						0			1				1	1	
滋賀県						0		1	1		1		3	3	
三重県						0		1					1	1	
北海道						0		1					1	1	
東京都						0	1				1		2	2	
神奈川県			1			1	1	1					2	3	
石川県						0		1					1	1	
岐阜県						0			1				1	1	
愛知県						0	1	1	1				3	3	
静岡県						0					1	1	2	2	
岡山県						0		1					1	1	
山口県						0		1	1				2	2	
愛媛県						0		1					1	1	
香川県						0		2					2	2	
高知県						0					1		1	1	
大分県						0					1		1	1	
計		0	5	4	0	0	9	11	43	37	3	19	8	121	130

表-10 平成 24 年度 教員採用試験合格者

2013/1/22 現在

区分	校種	現役					小計	既卒					小計	計	
		小学校	中学校	高校	中高共通	支援学校		小学校	中学校	高校	中高共通	支援学校			不明
都道府県市															
大阪市						1	1		6					14	15
大阪府	1	4	2			7		6	14					21	28
堺市	1	3				4	3	2						5	9
兵庫県			3			3		4	3		2	1	10	13	
神戸市						0	1			1			3	3	
京都府						0		1					2	2	
京都市						0		1		1			2	2	
滋賀県						0	1	1	1		2		5	5	
奈良県			1			1			1				2	3	
愛知県	1					1		1					1	2	
岐阜県						0		1					1	1	
三重県						0		1					1	1	
山形県						0					1		1	1	
神奈川県		1	2			3	1	1					2	5	
石川県						0					2		2	2	
岡山県						0		1	1				2	2	
広島県						0		1					1	1	
北九州市						0		1					1	1	
沖縄県						0		1					1	1	
計		3	8	8	0	1	20	6	28	21	3	18	1	77	97

平成 23 年度 キャリアアウイーク アンケート結果

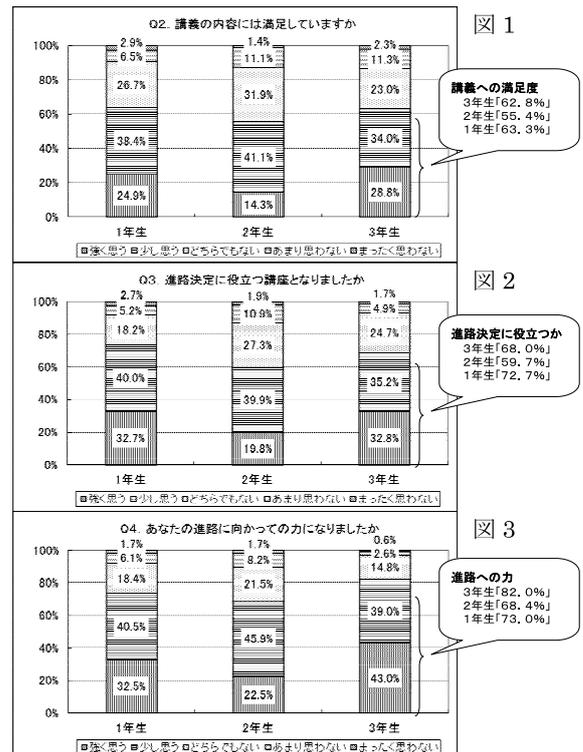


図-4 平成22年度 講義に対する評価

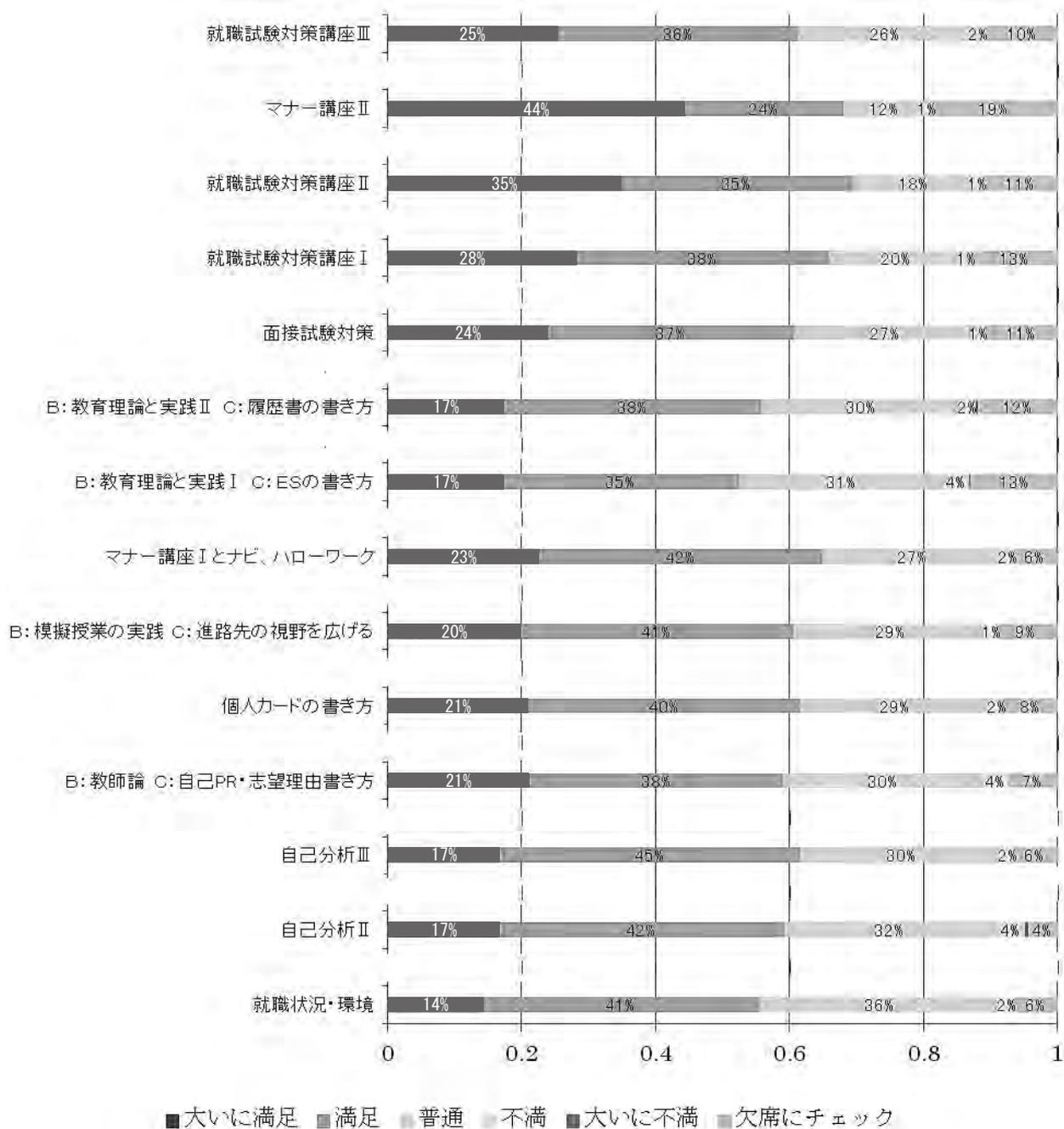


図-5 平成22年度キャリアセミナーの総合評価は？

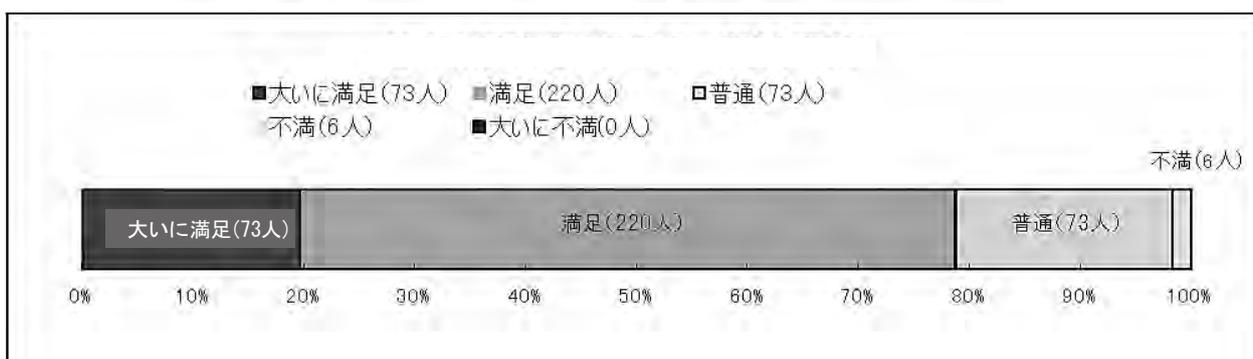


図-6 平成 23 年度 キャリアセミナーの講義に対する評価

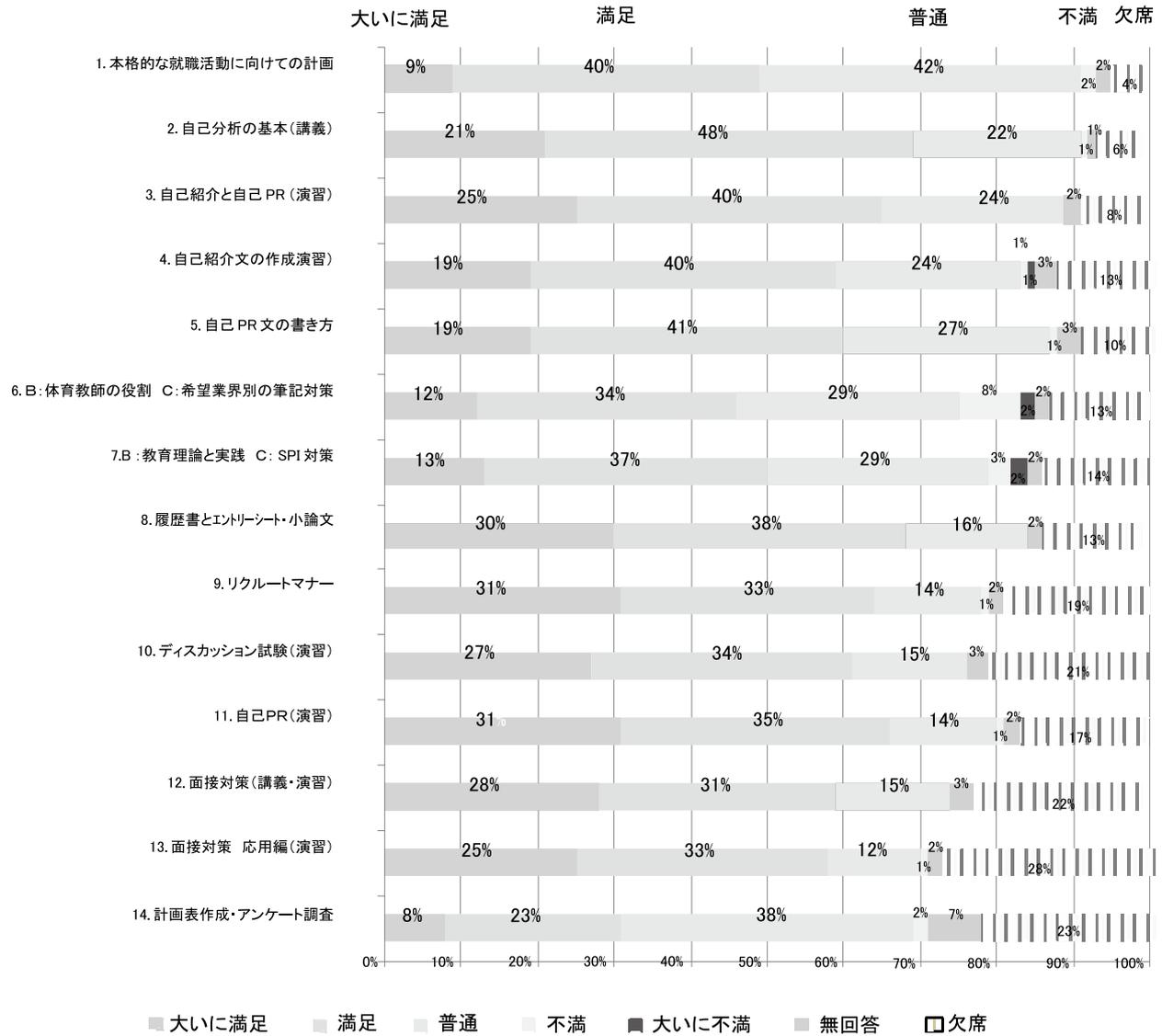
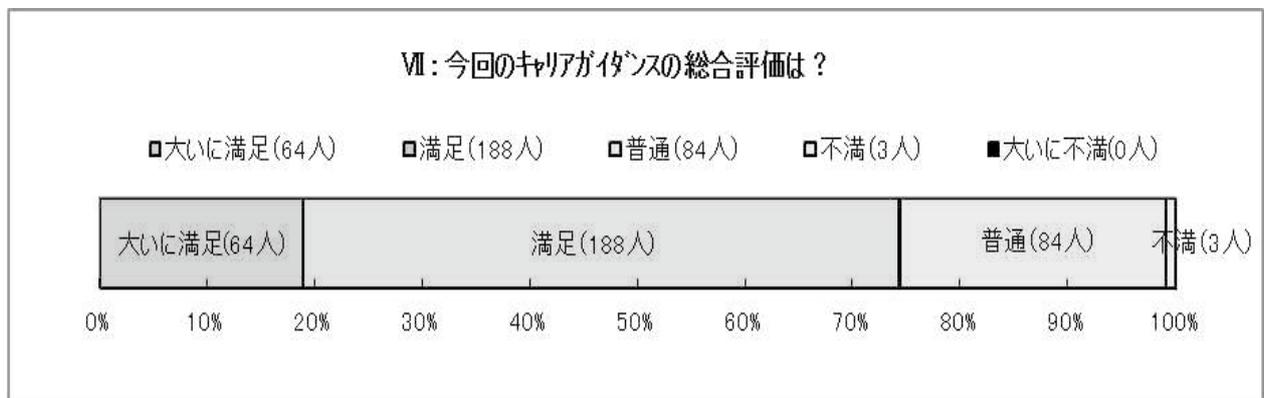


図-7 講義全体の総合評価



評価結果

評定：S

評定理由（総論）

優れている点として、単なる就職活動スキルにとどまらず、意識付け、基礎学力を含む社会人としての基礎力形成をはかるプログラムとなっていることがあげられる。また、「キャリア計画ノート」「毎時間の学習記録」「学習点検ノート」を学生に作成さ

せることは、自ら考え、文章にするという主体的取組を促すものとして高く評価できる。「キャリアウイーク（短期集中講座）」の実施、「キャリア計画ノート」の作成、自主学習支援非常勤講師の増員、キャリアカウンセリングの実施、事業報告書の公表といった当初の到達目標がすべて達成されたことが確認できる。

実地視察報告

視察日：2012(平成24)年10月25日（木）



総評

永吉宏英・大阪体育大学学長、柏森康雄・副学長、福田芳則・体育学部長、伊藤美智子・キャリア支援委員会委員長、宮崎光弘・キャリア支援センター長、石田裕一・事務局長より、本取組の概要について聴取した。学長からは、「キャリアウイーク（短期集中講座）」などが学生の意欲を引き出し、本年度は教員の現役合格者が30名を超え、既卒者を加えると120名以上が教員として採用されたことなど大きな成果を上げているとして、本支援事業が採択されたことに謝意が表された。

続いて、副学長より、1～3年次全員必須の「キャリアウイーク」について、修正を加えながら充実を図ってきた過程について詳細な説明を受けた。キャリア支援センター長からは、「キャリアウイーク」は今年度からは「キャリアフェスタ」としてより充実した内容で実施している、という説明があった。

こうした説明により、本取組が、単なる就職活動スキルの伝授にとどまらず、社会人としての基礎力

形成を図るプログラムとなっていることが改めて確認できた。さらに、「キャリア計画ノート」（「キャリアウイーク」等で学んだ記録をファイリング）、「学習点検ノート」（教員免許取得希望者は作成が義務）を学生に作成させていることも、自ら考え、それを文章にするという主体的取り組みを促すものであり、優れた取組として評価できる。

こうした取組に加え、自主学習支援非常勤講師の増員、本事業の最終報告書の作成・公表などもなされており、当初掲げた到達目標は達成されていると判断できる。

個別事項

①キャリア支援センター長から、昼休み（40分）に企業等の就職説明会を開いているとの説明があった。体育大学という性格上、5限以降はクラブ活動に取り組む学生が多いことに配慮していることがうかがえた。

②本学では、教員志望の学生が多いのだが、公務員や一般企業希望の学生もおり、就職説明会のリストを見ると、そういう分野の学生への就職支援活動も行われていることが確認できる。

③キャリア支援センターを視察したが、同センター内に自由にパソコンで就職情報を検索できるコーナーが設けられ、学生が熱心にパソコンに向かっていました。

④就職内定者へのインタビューを実施した。教員内定者2名、公務員内定者1名。入学時からきめ細かい就職支援活動が始まっていることが確認できた。

⑤教員の世界では、卒業してすぐに常勤職に就けるものだけではなく、非常勤等で生活しながら常勤職採用を目指している者が多数おり、そうした既卒者に対する手当が求められている厳しい状況を知った。キャリア支援センターでは既卒者に対するサポートも行っていることが確認できた。

⑥今後の就職支援プログラムについて副学長より、達成できた成果を基に、今後も改善を重ねつつ、継続を図っていく強い意向が表明された。